

平成30年度保健所管理栄養士政策能力向上シンポジウム開催要領

目 的	<p>近年、日本各地で地震や風水害等の自然災害が予測もしないスケールで国民生活に不安と衝撃を与えている。東日本大震災をはじめとし、大規模災害時に被災地へ保健医療従事者の一員としての行政栄養士派遣が始まり、被災者の栄養・食生活支援活動が重要視されている。また、行政栄養士の他、日本栄養士会(JDA-DAT)や災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の一員としても、管理栄養士及び栄養士が派遣され、支援活動を行う体制が整備されてきている中、被災市町村や管轄保健所、都道府県等の行政栄養士の受援調整や平常時の体制づくりが重要となる。そこで、大規模災害時に必要な栄養・食生活支援のあるべき姿や現状、必要な活動について整理し、今後の体制を推進する一助とすることを目的とする。</p>
主 催	日本公衆衛生協会
開催期日	平成31年2月8日(金) 午前10時30分から午後4時まで
会 場	アジュール竹芝(東京都港区海岸1-11-2)
対 象 者	都道府県・指定都市・中核市・政令市・特別区が設置する保健所及び本庁に勤務する管理栄養士等 150名(先着順)
参 加 費	無 料
テ ー マ	「大規模災害における栄養・食生活支援活動と連携について」
内 容	<p>1 開 会 主催者挨拶 : 日本公衆衛生協会 理事長 篠崎 英夫 氏 来賓挨拶 : 厚生労働省健康局 局長 宇都宮 啓 氏</p> <p>2 基調講演 「災害時の保健医療体制と栄養・食生活支援活動について」 講 師 : 厚生労働省健康局健康課栄養指導室 室長補佐 (地域保健室併任) 塩澤 信良 氏</p> <p>3 シンポジウム 座 長 : 愛知県一宮保健所 所長 澁谷 いづみ 氏 助言者 : 厚生労働省健康局健康課栄養指導室 室長 清野 富久江 氏 国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 上席主任研究官 奥田 博子 氏</p> <p>(1) 大規模災害時の栄養・食生活支援活動について</p> <p>① 「災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)としての管理栄養士派遣事例について」 報告者 長崎県西彼保健所 係長 河村 礼子 氏</p> <p>② 「災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の受援事例について」 報告者 岡山県備北保健所 副参事 焰硝岩 政樹 氏</p> <p>③ 「JDA-DAT の栄養・食生活支援活動について」 報告者 公益社団法人日本栄養士会 JDA-DAT 総括 下浦 佳之 氏</p> <p>④ 「大規模災害時における栄養・食生活支援活動に係る準備状況調査結果の概要と支援活動ガイドラインの改定について」 報告者 熊本県水俣保健所 参事 久保 彰子 氏</p> <p>(2) 全体討議</p>